

**地域に開かれた学園として（幼稚園 専門学校 大学）**

本学園では、地域に開かれた学園として地域貢献、地域連携活動を積極的に進めております。

少子高齢社会を迎え、地域の方々の医療や福祉、特に「健康」への意識が高まり、予防医学や予防介護といった知識・技術が求められています。企画調整室ではそのようなニーズに対応するため、本学園の持っている知的財産を地域へ還元することを目的とし、地域の方々が気軽に参加できるような講座を開講しております。

大学では3年前から、前橋商工会議所・藤岡市が主催する「まちなかキャンパス」に参加し、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方が交流し、語り、楽しめる学びの場を提供しております。この「まちなかキャンパス」を通じて、地域の皆様をつなぐ架け橋として、長年培ってきた教育と研究を土台に、地域のニーズに応えられる大学としてその役割を果たしたいと願っています。

その他、近隣の公民館においては子育て支援講座、高齢者教室を定期的実施したり、教員が施設や学校に出向き講座を実施したりする出前講座も積極的に実施しています。

さらに、今日の少子高齢社会において生ずる種々の問題に対して研究・調査及び情報提供を中心に地域の方々の相談事業にも対応しています。

群馬社会福祉専門学校では社会人の学び直しニーズに対応するため、社会福祉士通信課程の設置や、介護福祉士筆記試験対策講座等を開講しています。E-Learning を使用し、受講生の学習進度に応じて、主体的に学べることに大変好評を得ております。

附属幼稚園では、鈴蘭幼児教育センターを設置し、子育て支援や育児相談等に応じています。地域貢献活動として元総社地区文化祭や前橋まつりに参加し、秋には幼稚園バザーを行い地域の方々との交流を深めております。

このような活動を通して、開かれた学園として地域の方々が気軽に往き来できる学園づくりを進めております。

以下は28年度の実績報告となります。

**1 まちなかキャンパス 前橋商工会議所連携事業**

群馬医療福祉大学は前橋商工会議所連携事業としてまちなかキャンパスを開催し、地域の方々を対象に、長年培ってきた教育と研究を土台に、地域のニーズに応えられる大学としてその役割を果たしたいと願っています。

少子高齢社会を迎え、地域の方々の「健康」への意識が高まり、予防医学や予防介護といった知識・技術が求められています。そのようなニーズに対応するため、本学の持っている知的財産を地域へ還元することを目的とし、地域の方々が気軽に参加できるような講座を開講いたしました。

**2 論語の学堂 講座開催**

本事業は本学の歴史及び建学の精神に基づき、平成24年3月から開始した事業である。本学の淵源は宝徳元年(1949)に遠祖長尾昌賢が学問所を開設したのに始まり、世世漢学の教授を以て地域教育に貢献しています。

古来、漢学と呼び習わされている学問の中心にあるのが四書・五経と総称される中国の古典であり、就中日本では古代より論語が重んじられてきました。そして本学は論語の「仁」を建学の精神とし、学生へ全人

教育を行っています。福祉は特に人と人との関係構築が重視される分野であり、人間関係を築く上で最も大事なのが他者を己の如く感じる心、要するにそれが「仁」である。福祉と論語は決して無関係ではありません。この論語の精神、つまり「仁」を広く社会に還元するために、万を期して本年（平成 25 年）より通年講座として開始いたしました。

### 3 特別講演会 ～ 人を育てる オリンピック選手育成の現場から～

群馬県の吾妻郡草津町出身で、草津中学校、県立長野原高等学校を経て、早稲田大学人間科学部スポーツ科学科を卒業。4 度のオリンピックに出場。リンピック団体戦で 2 大会連続の金メダル獲得。ワールドカップでは個人総合 3 連覇等の成績を残している。その後、参議院議員を 1 期務め、現在は、北野建設（株）スキー部の GM としてオリンピック選手の育成をしている。

講演では、スキーは、3 歳から家の裏にあった少し傾斜のある畑で遊び始め、その後も親から技術的なことを学ぶことは一度もなく、自分で体感しながら成長してきました。学ぶことは自ら学ぶことであり主体的に行動することで本物の成長ができる。選手の育成も「人間尊重」と「承認欲求に答え」ことを基本にして、選手の主体性を引き出すように指導しておられ、これまでの体験や事例を交えて講演をいただきました。



### 4 公開講座 28 年 10 月～11 月予定

本講座は、本学における教育・研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の福祉と医療の向上に資することを目的に実施いたします。25 年度も大学院の社会福祉学研究科、大学の社会福祉学部、看護学部、リハビリテーション学部、短期大学部の介護福祉学科等の教員が講師として、講座を開講いたしました。



## 5 公開授業 7月16日(土)実施

学校法人昌賢学園（以下本学）で学んでいる学生たちは、それぞれの夢や目標に向かい、希望実現のために勉学に勤しんでおります。

そこで学生たちがどのような学習を行っているか実際の授業の参観と、さらには保護者の方に授業を体験していただき実体験を通じて本学の教育の実際をご理解いただく場とするとともに、本学の教育に対する希望などを拝聴する機会とし、本学の教育内容の充実・強化の一助にすることを目的として開催しました。

## 6 高大連携事業 単位認定授業開講 8/4～8/8 12/25～12/26

群馬医療福祉大学は、「地域に開かれた大学」を目指しており、その取り組みの一つとして地域の高等学校との連携を進めております。

高校時代に本学が実施する高大連携授業科目を履修することにより、社会福祉に関する内容を理解することができ、進路の選択に役立つこと、及び高校生活の充実、学習意欲の一層の向上に寄与することを目的として実施いたしました。

なお、この高大連携授業により習得した単位は、本学に入学した場合は本学で修得した単位として認定しております。



## 7 東公民館家庭教育学級連携事業 もっと！すくすくおやこスクール

子育てについてのコツや困ったときの対処法について学ぶとともに、日ごろ思っていること悩んでいることなどについて情報交換し、親子ともに楽しく健やかな毎日を応援します！みんなで一緒に楽しく子育てしませんか？ 群馬医療福祉大学の先生方が講師として色々なことを実践しました。

期間 平成28年12月～1月  
時間 10時～12時  
会場 前橋市 東公民館  
参加者 未就園児をもつ保護者とその子



## 8 東公民館 高齢者教室 参加者

高齢者と地域のふれあいの輪を結び、お互い学びあうとともに、こころ豊かな生活（健康・仲間づくり等）づくりを目的に地区内在住の概ね60歳以上の方を対象に実施。健康増進と地区の交流や東地区老人クラブ連合会の事業（学習活動）として位置づけられています。本学介護福祉学科の教員が講師として講座を担当いたしました。

8月30日(火) 13:00～15:15  
○講演  
「日常生活でできる生活術～血圧管理のコツ～」

講師 群馬医療福祉大学短期大学部 助教 松崎圭子



9月9日(金) 13:30~15:30

○「認知症にならないための予防策」

講師 介護福祉学科 助教 清水久二雄



### 9 自治体や団体との連携と人的資源(マンパワー)の提供

本学はボランティアや環境美化活動を通じた教育を重視し、学生の主体性を重視した教育を実践しています。特にボランティア活動は単位化し必修科目としています。以下のとおり26年度の地域貢献を行いました。

#### ・地域貢献活動への取組

前橋市 前橋まつり、前橋七夕まつり、前橋シティマラソン  
前橋あそか会 あそかまつり、やる気の木プロジェクト学生派遣  
前橋ヒルクライム、赤城大沼マラソン



藤岡市 藤岡市民活動フェスティバス、藤岡子どもフェスティバス  
藤岡市民討議会、藤岡まつり、藤岡フェスタ  
藤岡健康福祉祭、産学官連携藤岡まちづくりシンポジウム

群馬県 群馬県障害者スポーツ大会、リレーフォーライフジャパン、  
おくたの元気隊、みやま養護学校



## 10. 神流町 おくたの元気隊

### おくたのげんき隊活動報告会

中山間地域と学生との交流事業である「おくたのげんき隊」の活動について看護学部の学生20名が参加している。過疎化と高齢化が深刻な奥多野地域に、世代間交流を生み出すことを目的とし、学生たちは1年間、高齢者サロンや地域の行事に参加している。



## 12. 世界遺産 高山社での活動

本学が目指す地域密着型の実学教育として、地域と大学が協働して、地域の特性を活かしたまちづくり、コミュニティづくり、地域活性化を目指しております。

この度、本学が所在する藤岡市は「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産のひとつである高山社跡が世界遺産に登録されました。本学ではこの世界遺産・高山社において藤岡市と連携し高山社跡において、本学学部の特色を活かした活動を展開し藤岡市の発展、地域活性化に寄与して参ります。

学生は事前に高山者跡に関する基礎知識を学び、学生案内人として見学者をお出迎えしたり、駐車場のごみ広い等の活動をしたりしています。さらに看護学部生は学びの特色を活かし、健康チェック・血圧測定を行い、参加者の健康を気遣いながら交流を図りました。

### 13. 海外研修報告

研修期間 2017. 2. 26(日)～2017. 3. 3(金)

参加学生50名 引率4名

訪問先アメリカ合衆国 ハワイ州 ホノルル

(ハワイパシフィック大学、介護施設マルヒア  
病院クアキニメディカルセンター)



群馬医療福祉大学では、グローバル人材育成推進事業の一環として、海外研修プログラムを2017年2月26日(日)から3月3日(金)までの6日間にわたり実施した。これは学生が海外での様々な体験を通して世界を違う視点から見ることで、グローバルな視点で物事を捉える能力を身につけさせることを目的としたものである。現地研修では、担当者や多くの人々と接し、異国の風土、文化に直接触れることができました。普段の授業では得られない貴重な体験を得ることができた。

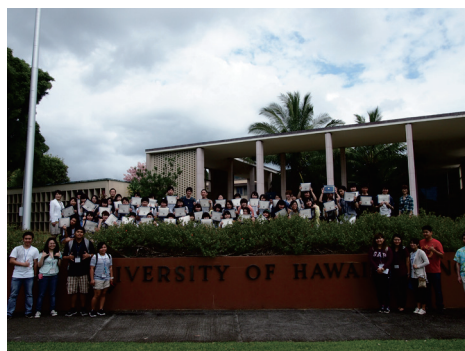
特にハワイパシフィック大学では「アメリカと日本の福祉事情について」「アメリカ合衆国の医療システム」についての講義を受講でき大変有意義なものとなった。

将来、医療福祉人として活動する際に活かせるような医療福祉に関するグローバルな視点を持てるようになったこと、ハワイと日本という異文化交流の中で、自分たちが成長していくための未知の可能性を探求することができたと考える。

その日の午後はハワイパシフィック大学の学生と交流を図りながら、英語でコミュニケーションを取りながら市内への散策へと出かけていった。これも学生達にとっては貴重な経験となったようである。

また、クアキニメディカルセンター(病院)・マルヒアナーシングホーム(高齢者施設)の視察では、レクチャーの後、施設を見学させていただいたり、利用者さんと交流させていただいたりと楽しい時間を過ごすことができた。

現地での研修は、天候にも恵まれ、学生の熱心な取組と現地スタッフによるわかりやすい説明によりスムーズに実施することができた。参加した学生には、今回の成果と貴重な体験、研修で得られたコミュニケーション能力を生かし、将来、グローバル化を意識した人材として一層活躍されることを期待したい。



## 群馬医療福祉大学と前橋市との連携協力に関する協定を提携

群馬医療福祉大学は、前橋市と文化、産業、学術、生涯学習 地域防災などの分野で相互に協力し、地域の発展や人材育成を推進するための連携に関する協定の調印式を、平成 28 年 7 月 21 日（木）に前橋市役所で行いました。

調印式では、鈴木利定学長と山本龍前橋市長が協定書に調印し、今後の連携に向けて硬固い握手を交わしました。

群馬医療福祉大学は、地域と共に発展する総合大学として、全学規模で前橋市との緊密な連携、協力を一層、図って参ります。

前橋市との連携・協力内容は以下の通り

- (1) 前橋市が推進するプロジェクトに関する事。
- (2) 教育研究、生涯学習、文化及びスポーツの振興発展に関する事。
- (3) 人材育成に関する事。
- (4) 地域防災及び災害発生時の相互協力に関する事。
- (5) その他甲及び乙が協議して必要と認める事項に関する事。



## 群馬医療福祉大学と前橋市教育委員会 連携に関する協定を提携

群馬医療福祉大学と前橋市教育委員会は、大学における教員養成の充実及び市内の学校教育ならびに社会教育の充実に向け、平成 28 年 7 月 21 日（木）前橋市市役所において、連携に関する協定を締結しました。この協定により、教職を目指す学生の教育現場における臨床体験等の充実による実践的指導力の育成と、大学による学校教育の充実のための授業支援ならびに社会教育充実のための支援等の連携・協力がすすめられることとなります。

前橋市教育委員会との連携・協力内容は以下の通り

- (1) 教職インターンシップの実施に関する事。
- (2) 学校支援ボランティア活動の実施に関する事。
- (3) 教育活動への大学の支援に関する事。
- (4) 教育情報の収集と研究の場の提供に関する事。
- (5) 生涯学習活動への大学の支援に関する事。



## 群馬医療福祉大学と藤岡市及び藤岡市教育委員会 連携に関する協定を提携

群馬医療福祉大学と藤岡市及び藤岡市教育委員会は、6月2日（木）藤岡市役所において、地域の発展や人材育成等を目的に「連携に関する協定」を締結しました。お互いの発展に役立てるため、資源や研究成果などの交流を進め、文化、教育、学術などの分野で連携し、協力することを目的としています。

締結式には、群馬医療福祉大学より、学長、学部長、総務部長、IR室長、企画室長、事務長が出席し、藤岡市より、新井利明市長、藤岡市教育委員会より田中政文教育長が出席し、協定締結までの経過説明の後、学長と藤岡市長、教育長により協定書に署名が行われました。

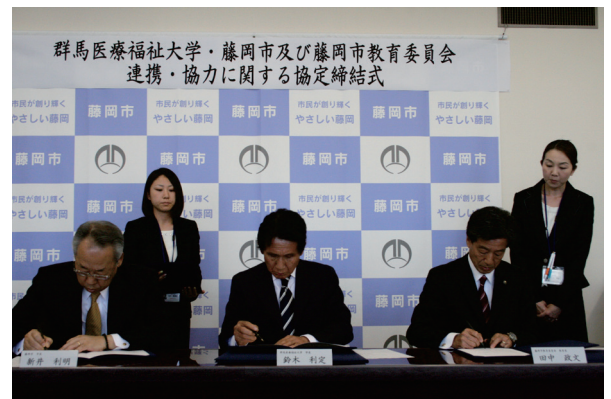
この協定締結により本学の研究成果などの交流、そして一層発展的な連携・協力が全学的に展開できる体制が整いました。

藤岡市との連携・協力内容は以下の通り

- (1) 藤岡市が推進するプロジェクトに関すること。
- (2) 教育研究、生涯学習、文化及びスポーツの振興発展に関すること。
- (3) 両機関が有する知的資源、人的資源、物的資源の活用に関すること。
- (4) 安全で住みよいまちづくりに関すること。
- (5) 人材育成に関すること。
- (6) 地域防災・災害発生時の相互協力に関すること。
- (7) その他前条の目的を達成するために必要と認める事項。

藤岡市との連携・協力内容は以下の通り

- (1) 大学の教養教育、教員養成の充実に関すること。
- (2) 小・中学校の教育の充実と教員の資質向上に関すること。
- (3) 学校教育上の諸課題に対応した調査研究に関すること。
- (4) スポーツの振興に関すること。
- (5) 生涯学習の振興発展に関すること。
- (6) その他前条の目的を達成するために必要と認める事項。





## 群馬医療福祉大学と Polytechnic of Health Denpasar(インドネシア)との 連携協力に関する協定を提携

群馬医療福祉大学は、Polytechnic of Health Denpasar(インドネシア)の協力関係を推進することが共通の利益となることを認め、そして両校間の協力が両国の文化、科学の進歩及び友好関係の強化に寄与することを確認し、以下の協力協定に合意するものである。

Polytechnic of Health Denpasar との連携・協力内容は以下の通り。

- ・ 学生の交流
- ・ 教職員の交流
- ・ 共同研究、教育及び文化的プログラム
- ・ 研究情報の交換



## アレリアノ大学(フィリピン)と学術交流協定を締結

2016年11月29日(火) 群馬医療福祉大学とアレリアノ大学(フィリピン)と親密な友好関係を保持し、両大学の相互の発展と国際的な医療福祉従事者養成を目的として、相互交流の学術交流協定を締結しました。今後は共同研究、短期研修および短期留学の派遣を大学間相互で行い、異文化・学生間交流を深め、グローバル人材の育成を進めていきます。

アレリアノ大学は1938年に創立。現在6つのキャンパスが有り、50000人の学生が在籍しています。法学部、教養学部、教育学部(初等教育、中等教育)、医療サービス(理学療法、作業療法、看護、放射線技師、医療技術、薬学) 経営学部等を持つ総合大学です。



今後も本学の協定校は、増える傾向にあり、さらに国際交流活動を活発化するよう取り組んでいきます。



Arellano University

<http://www.arellano.edu.ph/>

## 群馬医療福祉大学は前橋市社会福祉協議会と連携協定を締結

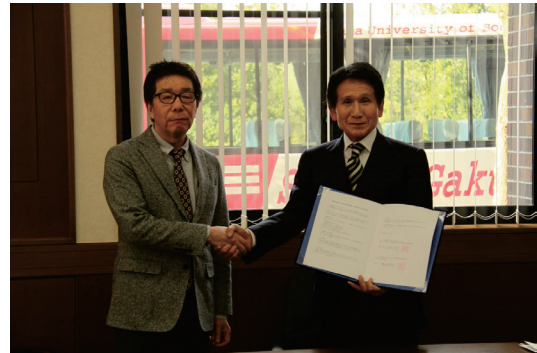
2016年12月9日(金) 群馬医療福祉大学において前橋市社会福祉協議会と協定締結式を行いました。今回の協定締結を機に、連携事項等を明確にし、迅速・円滑な連携状況及び課題の把握・整理のもと、的確な改善が期待できます。

また、これまでの連携事業の更なる充実・強化に加え、双方の有する資源を有効に活用した協働を推進することにより、相互の発展及び充実、地域の発展並びに人材の育成に寄与していきます。さらに地域全体の活力の低下や地域コミュニティの減退が課題となっていることから、地域全体で支え合う仕組みの開発を目指していきます。

協定内容は以下のとおり

- (1) 地域福祉の増進に関すること
- (2) 地域包括ケアシステムの推進に関すること
- (3) 福祉教育の推進及び人材育成に関すること
- (4) ボランティア活動の振興に関すること

### 地域福祉を担う優れた人材の育成 (社協)



福祉教育・福祉人材育成の一環として、社会福祉専門職を目指す学生に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場の提供を今後も継続的に行う。さらに地域福祉実践に深い経験と学識を有する職員を大学に派遣し、地域福祉に関連した講義を行い、地域福祉を担う優れた人材の育成に努める。

### 地域の福祉課題研究 (共同)

研究成果について積極的に地域に還元し、福祉のまちづくりを推進するために連携して研究課題に取り組む。

### マンパワーの提供 知的財産及びボランティア (大学)

海浜訓練ボランティア等に、学生をボランティアスタッフとして派遣すること。災害発生時(震災、雪害)に大学生をマンパワーとして送り出し、市民のケアに協力する。その他、市内老人福祉センターからの依頼に応じて講師を派遣し、介護予防体操・講座等の開催を行っていく。



# 群馬医療福祉大学と群馬電機株式会社との産学連携協力に 関する協定を締結

群馬医療福祉大学と群馬電機株式会社との間で「産学連携に関する協定」を平成 29 年 3 月 30 日(木)に締結しました。相互に協力して群馬医療福祉大学の研究成果を社会に一層還元することや群馬電機が開発した「認知機能低下予防プログラムプレイヤー」の医学的効果検証を主とする産学連携活動の推進で連携・協力し、医療・福祉介護の現場に貢献することを目的としています。

群馬電機との協定の内容は以下の通り

- (1) 群馬電機が開発した「認知機能低下予防プログラムプレイヤー」の医学的効果検証に係る調査・分析、及びエビデンスの作成
- (2) 群馬電機が開発した「認知機能低下予防プログラムプレイヤー」に内蔵しているプログラム仕様の改善提案

## 群馬電機(株)

本社 みどり市大間々町大間々760  
海外拠点 中国広東省 河北省 香港  
設立 1968年12月11日  
資本金 9,930万円  
従業員 105名

主に駅構内設置表示板、大型表示板、自販機表示器などを製造しているが、2015年から、福祉介護分野における商品開発専任チームを立ち上げ、商品化を進めている。

### 認知症予防プログラムプレイヤー コグニマスター

(参考出品)

e!未来工房



施設の責任者やスタッフからの声にお応えします

- 認知症予防の大切さを認識している
- 施設の取組みに特徴を持たせたい
- スタッフが毎日のレクリエーション内容に苦心している

コグニマスター MC-501  
写真左：漢字モードで「赤」の表示例

- 1 高齢者施設などで「脳と体の同時運動」を行う際、スタッフ横でサポートしますので、スタッフの負担を軽くし楽しい進行ができます。
- 2 難聴や視力低下された高齢者の方が進行内容を容易に把握できる様、「文字表示と音声」によりアシストします。
- 3 「脳と体の同時運動」は、「リズム (2~4拍子)」「漢字 (50文字)」「体操 (童謡6曲)」の3モードを使い、楽しく盛り上がります。

## 広報活動

- ①高校訪問（北関東・東北・甲信越・北陸の高等学校を中心）
- ②進学ガイダンス
- ③高等学校教諭説明会
- ④オープンキャンパス（学校見学会・一日体験入学）
- ⑤ホームページ、LINE、Facebook
- ⑥進路情報誌の掲載
- ⑦Web 媒体
- ⑧出前授業
- ⑨新聞広告（主に上毛新聞）
- ⑩FM 群馬

大学（社会福祉学部・看護学部・リハビリテーション学部）において、一定の志願者を集め、入学者数においても平成27年10月1日施行された「大学、大学院、短期大学及び高等専門学校」の設置等に係る認可の基準の一部改正に伴う定員超過率内（1.15）で確保することができた。短期大学部においては昨年度と同等数確保できたものの、定員には達しなかった。

看護・医療系志望者多い中、福祉・介護の魅力を如何に伝えていくかが今後の大きな課題である。同時に本学園の特色や取り組みについて、パンフレットやホームページを媒介にして明確に打ち出していきたい。さらに他大学との差別化を図るため、本学園の教育を在学生・卒業生を通して理解していただくための企画立案をしていかななくてはならない。

## 平成28年度オープンキャンパス参加者数

	28年度	前年対比	前年度 (27年度)
前橋キャンパス 社会福祉学部 短期大学部	434名	▲128	562名
藤岡キャンパス 看護学部	425名	▲136	561名
本町キャンパス リハビリテーション学部	312名	▲92	404名
群馬社会福祉専門学校	127名	▲42	169名
合計	1,298名	▲398	1696名

## 入学者状況（入学者数）

	入学 定員	H29年 4月	前年 対比	H28年 4月	前年 対比	H27年 4月
大学院	10名	3名	+2	1名	▲4	5名
大学 社会福祉専攻	50名	37名	▲10	47名	▲2	49名
大学 編入	40名	22名	+13	9名	▲16	25名
大学 子ども専攻	40名	31名	▲9	40名	▲1	41名
大学 看護学科	80名	90名	▲1	91名	▲4	95名
大学 理学療法専攻	35名	34名	▲6	40名	+1	39名
大学 作業療法専攻	25名	23名	▲4	27名	—	27名
短大 医療福祉学科	80名	40名	▲13	53名	▲1	54名
専門学校						
福祉保育学科	50名	28名	▲17	45名	▲4	49名
介護福祉専攻科	80名	39名	+10	29名	▲22	51名
社会福祉士通信課程	200名	144名	+75	69名	▲1	70名
別科（実務者研修「通学」）	250名	26名	+26	9月開講	—	—
別科（実務者研修「通信」）		125名	+125	7・1月開講	—	—
鈴蘭幼稚園	90名	31名	+13	18名	▲3	21名

◇キャリアサポートセンターでは学生一人ひとりの希望する先への就職または進学ができるよう、有資格者(キャリアカウンセラー)を配置するとともに、『就職指導』を授業として開講し、きめ細かな就職支援や求人資料等、豊富にそろえ、実践的なアドバイスも交え、現場での即戦力になるためのサポートを実施しています。

ボランティアセンターとも連携し、本学の特色でもある『ボランティア活動』を就職活動にも存分に取り入れ、医療福祉施設等での活動に積極的に取り組むことを進めることで進路・就職に対する動機付け、または就職後のミスマッチを防いでいます。

学生のキャリアに対する意識の向上及び就職指導の一環として行う研修は、変化する社会情勢の中でも十分な就職活動が行えるようバックアップ体制を敷いており、資格取得対策に関しては学生を支援する資格取得講座を数多く開講しています。この資格取得講座の受講者、各種資格試験の合格者は年を重ねる毎に増加しており、公務員(公立保育園を含む)に現役生が合格するとともに、教員採用試験の合格者も数多く出ています。

また、同センターでは卒業後のキャリア支援も行っており、職場における問題、資格取得及び再就職の相談・斡旋等、生涯にわたるキャリア形成においての支援も行っています。

◇各学部学科の就職状況は以下の通りです。

- ・社会福祉学部社会福祉専攻の就職場所は、高齢者関連施設 32%、障がい者(児)施設 12%、病院 16%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団) 9%、児童関連施設 7%、特別支援学校教諭 5%、一般企業 14%、公務員 4%
- ・社会福祉学部こども専攻の就職場所は、保育園や幼稚園 61%、障がい者(児)施設 2%、児童関連施設 12%、福祉関連機関団体(社会福祉協議会・社会福祉事業団) 5%、一般企業 7%、小学校教諭 9%、進学 2%
- ・看護学部の就職場所は、病院 94%、養護教諭 1%、進学 5%
- ・リハビリテーション学部理学療法専攻の就職場所は、病院 97%、高齢者関連施設 3%
- ・リハビリテーション学部作業療法専攻の就職場所は、病院 82%、高齢者関連施設 18%
- ・短期大学の編入者及び就職場所は、高齢者関連施設 56%、障がい者(児)施設 6%、病院(医療事務)25%、一般企業(福祉)3%、進学(編入学含む)10%
- ・群馬社会福祉専門学校介護福祉専攻科の就職場所は、高齢者関連施設 56%、障がい者(児)施設 7%、児童関連施設 31%、進学 3%、留学 3%

## 財務の概要

### 施設整備の主な整備状況

#### 大学

建物（附属設備）	2, 500, 000円	教室改修工事
教育研究用機器備品	5, 030, 000円	教室流し台工事他
管理用機器備品	337, 662円	資源ゴミ物置
図書	1, 724, 774円	
車両	3, 529, 720円	乗用車（取替）
ソフトウェア	594, 000円	サーバーライセンス

#### 大学院

図書	22, 112円	
----	----------	--

#### 短期大学部

建物（附属設備）	198, 720円	エアコン工事
教育研究用機器備品	280, 800円	AED代
図書	464, 363円	

#### 看護学部

教育研究用機器備品	4, 920, 000円	透析用監視装置
-----------	--------------	---------

#### 専門学校

構築物	575, 000円	看板工事
教育研究用機器備品	1, 352, 322円	授業用ベッド他
図書	174, 420円	

#### リハビリテーション学部

管理用機器備品	3, 356, 640円	職員用サーバー・パソコン
---------	--------------	--------------

#### 幼稚園

建物	57, 800, 000円	園舎改修
教育研究機器備品	4, 086, 000円	職員室等書庫他

#### 法人

建物建設仮勘定	44, 000, 000円	研修所
構築物	2, 052, 000円	看板工事

公認会計士と監事の監査報告並びに・資金収支の状況（経年推移）・消費収支の状況（経年推移）・貸借対照表（経年推移）・財務比率（経年推移）は別掲のとおりである。また平成28年度の財務概要としての施設整備状況は前記のとおりである。特に今年度は学生生活環境の改善としては1号館教室一部を理科室に改修して小学校教科（理科）を充実させた。幼稚園においては子育て支援機能面を重視して園舎を大改修し、社会の大きな要請に応えるべく認定こども園へ移行申請を行い、来年度開設の認可を得ることができた。また法人全体の職員・学生が学校教育理念方針に基づいた教育研修に広く活用できるよう広範な研修所としての建築を始めたところである。リハビリテーション学部・社会福祉学部・看護学部はともに入学定員・収容定



員を引き続き充足し、今後も学生定員確保は十分に見込まれるところである。

また、学生生徒等納付金収入は前期と比較し同程度の決算額である。経常経費依存率も数年平均的にほぼ90%前後で推移しており、学生生徒に対する教育的還元は行き届いていると思われる。施設整備を充実させたことから繰越収支差額は若干減少しているが施設拡充引当金は着実に計上できており将来構想にも満たされている。資金的には外部借入金等に頼ることなく健全な財政運営を継続できている傾向である。次年度も財務状況は良好に維持し、大学法人としての教育研究目的を達成するために必要な財政基盤をしっかりと確保し、継続的に収支バランスのとれた運営を目指して行く方針である。